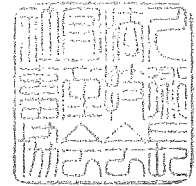


19 畜技協第390号  
平成19年7月10日

07.7.13

(社) 日本畜産学会 御中

社団法人 畜産技術協会  
会長 山下喜弘



平成19年度畜産経営技術等支援・表彰事業（畜産大賞）における  
研究開発部門の表彰候補事例の推薦について（依頼）

時下ますますご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から当協会の事業の実施につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、社団法人中央畜産会は、日本中央競馬会の畜産振興事業として、我が国の畜産経営及び畜産技術の向上等を図るため、畜産経営技術等支援・表彰事業を実施しております。この事業は、畜産経営、地域畜産振興、研究開発の3部門から各部門の最優秀賞・優秀賞を選考し、これら最優秀賞の中から畜産大賞の選考を行うもので、このうち研究開発部門の表彰候補事例の募集・選考については、社団法人中央畜産会から社団法人畜産技術協会が受託して実施しております。

つきましては、平成19年度の研究開発部門における表彰候補事例を下記により募集いたしますので、貴会機関紙等により会員各位に広報いただくとともに、表彰候補事例をご推薦いただきますようお願い申し上げます。

なお、当協会では、一般応募及び推薦された候補事例の中から研究開発部門の最優秀賞及び優秀賞候補を選考することになりますが、そのほかに別添のとおり、当協会が平成15年度から表彰を行っております「畜産技術協会賞」の候補事例にもさせていただきます。

#### 記

- 1 表彰候補事例の募集・推薦について  
別紙1「平成19年度畜産経営技術等支援・表彰事業（畜産大賞）における研究開発部門  
表彰候補事例の募集について」のとおり
- 2 推薦書の様式及び記入の方法について  
推薦書の様式は、別紙2「畜産大賞研究開発部門応募調書」のとおり  
記入にあたっては、別紙3「応募調書の記入について（お願い）」を参照のこと
- 3 応募締切日  
平成19年9月10日（月）[当協会必着]
- 4 その他  
別紙4「第5回畜産技術協会賞」もご覧下さい。

## 平成 19 年度畜産経営技術等支援・表彰事業「畜産大賞」における 研究開発部門表彰候補事例の募集について

社団法人中央畜産会では、日本中央競馬会の畜産振興事業として、財団法人全国競馬・畜産振興会の助成を受け、「畜産経営体の経営改善及び経営の多角化に資するため畜産経営・技術等の優良事例の紹介及び普及を行うこと」を目的として、畜産経営、地域畜産振興、研究開発の3部門から各部門の最優秀賞・優秀賞を選考するとともに、これら最優秀賞の中から畜産大賞の選考を行う、畜産経営技術等支援・表彰事業を実施しております。

このうち研究開発部門の募集・選考については、社団法人中央畜産会から社団法人畜産技術協会が受託して実施しております。

研究開発部門では、畜産現場で工夫・開発されて活用されている技術や畜産技術の向上と普及に寄与貢献すると予測される技術・研究成果事例を下記により募集・選考いたします。

### 記

#### 1. 募集及び選考

##### (1) 募集対象

募集は、次のいずれかの内容で、個人、グループ等によって日本国内において開発された最近の事例とします。

- ① 畜産現場で工夫・開発され、活用されている畜産技術またはその基礎となった研究成果
- ② 畜産技術の向上と普及に寄与・貢献すると予測される技術開発または研究成果

##### (2) 応募の方法

所定の様式「畜産大賞研究開発部門応募調書」に必要事項をご記入の上、ご応募下さい。

様式は、当協会のホームページ (<http://jlta.lin.go.jp/>) にも掲載しております。

募集は、一般公募としますが、推薦者・推薦団体がある場合には、様式の推薦欄にご記入下さい。

##### (3) 応募の〆切

**平成 19 年 9 月 10 日 (月) [当協会必着]**

応募書類は、必ず郵送で提出願います。

##### (4) 選考の方法

提出書類をもとに、当協会に設置する研究開発部門審査会が審査の上、選考します。

選考の結果は、応募者本人にご連絡いたしますが、提出された書類は返却いたしません。

#### 2. 表彰 (社団法人中央畜産会が実施)

##### (1) 表 彰

研究開発部門最優秀賞 1 点 (賞金 100 万円) 及び優秀賞 1 点 (賞金 50 万円) が表彰され、さらに経営、地域畜産振興及び研究開発の3部門の最優秀賞の中から畜産大賞 1 点 (賞金 100 万円、最優秀賞金 100 万円と併せて 200 万円) が表彰されます。

##### (2) 表彰式及び業績発表会

社団法人中央畜産会が主催する表彰式・業績発表会 (平成 20 年 2 月開催予定) において、表彰及び業績の発表を行います。

なお、研究開発部門に応募された事例は、最優秀賞、優秀賞の選定後、当協会の畜産技術協会賞の候補事例になります。

社団法人 畜産技術協会

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9  
TEL 03-3836-2301 , FAX 03-3836-2302  
e-mail : oubo@jlta.jp  
URL : <http://jlta.lin.go.jp/>

企画情報部 担当 八木

様式

## 畜産大賞研究開発部門応募調書

(対象部門；研究開発部門)

畜産技術協会記入欄：受理 No.19-

受理月日：平成19年 月 日

表彰候補事例名		
推薦者 (推薦者・団体がある 場合のみ)	所属 (推薦団体名)	
	氏名	印
表彰候補者 研究組織	現住所	
	フリガナ 氏名又は グループ名 (グループの場合は代 表者を筆頭に構成員 全員の氏名)の	
履歴 (グループの場合 は代表者の履歴)	生年月日	年 月 日生 (満 歳)
	現職	
	過去の略歴	
表彰に値する 事例・業績の 概要		

注；本調書に記載いただいた情報は、受賞の有無に関わらず、次に定める情報提供に利用いたします。

〔情報内容〕本調書に記載された情報のうち、現住所、生年月日を除く情報。

〔利用方法〕①畜産技術協会及び中央畜産会が行うインターネットを通じた情報提供。

②畜産技術協会及び中央畜産会が発行する情報誌（「畜産技術」、「畜産コンサルタント」、  
「畜産会経営情報」）を通じた情報提供。

表彰に値する  
事例・業績の  
概要（続き）

事例・業績に関する資料等

できるだけ具体的に記載してください。

(例)

- ・マスコミ、一般雑誌に取り上げられた記事等
- ・学会等に提出した論文
- ・取得した特許等
- ・表彰された賞等

## 応募調書の記入について（お願い）

平成19年7月  
社団法人畜産技術協会

### I 募集様式の記入について

候補事例の審査は、提出された応募調書を基にして行われます。候補事例が適切、公正に評価を受けられますよう、ご記入に際し、特に次の点にご留意下さい。

#### 1. 応募調書

指定の様式によりA4版用紙3枚以内にまとめてください。

各欄のスペース、活字の大きさは特に指定しませんが、推薦書はそのままコピーして審査資料としますので、ワープロソフトでの仕上げにしてください。

#### 2. 表彰候補事例名

事例の内容を適切かつ明確に示すキーワードを入れて、30字以内にまとめて下さい。

#### 3. 表彰候補者・研究組織

グループの場合には代表者を筆頭に構成員全員の氏名を記入して下さい。

複数機関にまたがる場合には、氏名の後の（ ）内に機関名を記入するか、氏名の後にアルファベットを付し、最後にアルファベットごとの機関名を記載して下さい。

#### 4. 履 歴

個人の場合は本人、グループの場合は代表者の履歴を記入して下さい。

#### 5. 表彰に値する事例・業績の概要

候補事例の業績内容に係る背景、事実、効果などについて、それぞれ簡潔かつ明確に記入して下さい。

表彰に値する事例の概要の部分は、用紙2枚目以内に収まるようまとめて下さい。

共同研究に係る業績については、そのプロジェクトにおける個人の位置づけ、果たした役割が明らかになるようにして下さい。

#### 6. 事例・業績に関する資料等

当該事例が、マスコミ、一般雑誌等に取り上げられた事例、学会等に提出した論文、取得した特許、すでに受賞した賞等をできるだけ具体的に記入して下さい。

コピー等の添付は不用です。必要な場合には、こちらから別途請求いたします。

### II 応募調書の提出期限

（社）畜産技術協会への推薦締切りは、平成19年9月10日（月） [当協会必着] とします。

### III その他

選考の結果は応募者本人または代表者にご連絡いたします。推薦者がある場合は、推薦者にもご連絡いたします。

なお、提出された書類はお返しいたしません。

## 第5回畜産技術協会賞について

畜産技術協会では、畜産分野の技術開発を活性化し、研究者や技術者の開発意欲を高めるため、「畜産技術協会賞」（平成18年度に「畜産技術研究開発奨励賞」から名称変更）を設け、表彰を行っております。

募集および審査については、当協会が中央畜産会から委託を受けて実施しております畜産大賞の研究開発部門の募集・選定に併せて行い、その応募課題の中から、畜産技術協会が特に優秀と認めた技術開発課題等を1～2点を選定して表彰するものであります。

なお、選定にあたりましては、畜産大賞の研究開発部門の審査委員の方々に併せて審査をお願いすることにいたしております。

昨年度は、畜産大賞の応募課題の中から「抗酸化ビタミンE給与による食肉の品質保持技術の開発」と「コンポテスター開発による堆肥の腐熟度判定とその応用」の2課題が選定され、平成19年6月14日に表彰式が行われました。

したがって、平成19年度の畜産大賞に応募される課題につきましては、同時に畜産技術協会賞の候補課題にもなることのご理解の上、積極的に応募いただくようご案内申し上げます。

第5回畜産技術協会賞の募集・選考は下記のとおり行います。

### 記

#### 1. 選考

##### (1) 選考対象

畜産経営技術等支援・表彰事業（畜産大賞）の研究開発部門へ応募した課題。

なお、畜産大賞の研究開発部門の応募については、畜産技術協会から関係学会等へ推薦依頼をしております。また、当協会のホームページ (<http://jlta.lin.go.jp/>) でも案内しています。

##### (2) 選考方法

応募課題のうち畜産大賞の研究開発部門の最優秀賞及び優秀賞選定後、同一審査員により審査を行い1～2課題を選定します。

#### 2. 表彰（畜産技術協会が実施）

##### (1) 表彰

畜産技術協会賞には、賞状及び賞金30万円が授与されます。

##### (2) 表彰式

表彰式は、平成20年6月に開催予定の畜産技術協会通常総会日に、別途畜産技術協会が実施している優秀畜産技術者表彰と併せて行う予定です。